

# ヴァイオリンとピアノの調べ

Violin

浦川 宜也

TAKAYA URAKAWA

1940年東京生まれ、小野アンナ女史の門に入り、9歳学生コンクール第1位、13歳で音楽コンクール入賞。近衛秀麿氏に認められ、ABC交響楽団のソリストとしてデビュー。

東京藝術大学入学と同時にDAAD留学生として渡独、西ベルリンでM.シュヴァルベ氏に師事、ミュンヘンでW.シュトロス氏に師事。1963年ミュンヘン国立音楽大学を首席、最優秀で卒業。大指揮者J.カイルベルト氏に認められ、バンベルク交響楽団第一コンサートマスターに就任。1969年ソリストとして独立、ヨーロッパ各地で活躍。

1981年帰国。東京藝術大学で教鞭を取り、1984年より教授。以来米国、豪州、中国でも演奏の他、内外のコンクールの審査、セミナーの開催。CD録音は主要作品を殆ど網羅、楽譜の校訂も多数。

現在、東京藝術大学名誉教授、2017年秋、ドイツ・ミュンヘン市で若い芸術家支援の目的で、浦川宜也財団 ([www.urakawa-foundation.com/request](http://www.urakawa-foundation.com/request)) を設立、理事長を務める。

Piano

田中 美千子

MICHIKO TANAKA

東京藝術大学附属音楽高校、東京藝術大学を経て東京藝術大学大学院修士課程修了。

ドレスデン音楽大学大学院修了。ドイツ国家演奏家資格取得。その後ドレスデン音楽大学非常勤講師を務める。ドレスデン国立歌劇場（ゼンパーオーパー）で大学オーケストラ演奏会のソリストを務め、モーツァルトのピアノ協奏曲を演奏。1995年マルクノイキルヒェン国際コンクールにおいて公式伴奏者を務め、最優秀伴奏者賞受賞。

1997年～2003年東京藝術大学大学院室内楽科演奏助手および同非常勤講師。

これまで東京、名古屋、北九州、秋田でリサイタルを開催している他、ドレスデン、マイセン、プラハ、ウィーン、ミュンヘンなど国内外において数々のコンサートに出演。室内楽奏者としての評価も非常に高く、プラハ・アポロン弦楽四重奏団、ターリヒ弦楽四重奏団、ウィーン・ラズモフスキー弦楽四重奏団、木管五重奏団「クインテット・ウィーン」、アドリアン・コックス、ラルフ・デーリング、浦川宜也など国内外の多くの演奏家と共演している。元上野学園大学教授。

## お問い合わせ

111-8621 台東区西浅草 3-25-16  
電話 03 (5246) 5812  
台東区教育委員会生涯学習課 学習館

